

小学校算数科において、自ら考え、共に学び、問題解決できる児童の育成

- 状況カードを活用した学び方の工夫を通して -

特別研修員 算数 小林洋一(小学校教諭)

児童の実態

- ・指示待ちの姿勢で授業に取り組んでいる様子が見られる。
- ・文章問題に取り組むことや自分の考え方や思いを伝えることに対して抵抗感をもっている様子が見られる。

教師の願い

- ・一人一人の学び方で問題解決できるようになってほしい。
- ・問題解決できる経験を積み重ね、学ぶことの楽しさを味わってほしい。

導入

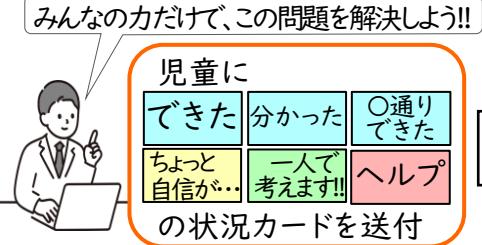
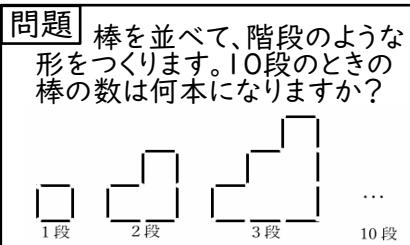
個別追究

協働タイム・全体共有

振り返り

状況カードを活用した児童による児童のための学びの場の設定

実践事例: 第4学年 「2つの量の変わり方を調べよう」



一通りできたら、カードを送ろう。



個別追究後

工夫① 状況の共有



表を縦に見ると、何倍になっている?

あ、4倍だから、段の数に4をかけると…



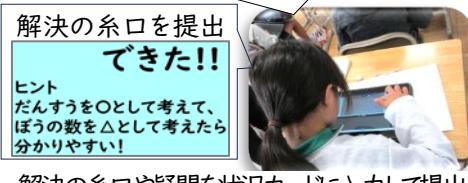
ヘルプの人を見付けると、すぐに…

少し考えると、きまりが整理できそうだから、自分でやってみよう。カードを送り直してから友達に聞きに行こう。



工夫② 解決の糸口・疑問の共有

前回の授業の式を少し変えればいいのだから…



解決の糸口や疑問を状況カードに入力して提出

ちょっと自信がないけど…このきまりって、合っている?

合っていると思うよ。Aちゃんからのヒントを使うと、もう一つきまりつくくれないかな?



私も表を横に見たらこのきまりを見付けたから、大丈夫だと思う。違う友達の考えも聞こう。

棒の数を段の数でわると4になります。

B君が異なった見方をしているから、聞きに行ってごらん。



教員は、児童と児童のつなぎ役

昨日、○と△を使って式をつくったよね。同じように考えて、このきまりを式にしたの。

昨日の授業で学んだことを使えるとは、さすがだね。きまりがより分かりやすくな。

工夫③ 解答の共有



解答を撮影したり、状況カードに入力したりして提出

私の考え方と異なる考え方をしている人がいるかな?

この考え方って、どういうこと?



まだ交流していない友達の考え方を確認中

提出された解答を見合い、新たな交流も生まれた

昨日の授業で学んだことを使えるとは、さすがだね。きまりがより分かりやすくな。



目指す児童像

自分で考え、共に学び、問題解決できる児童

成果

- 児童一人一人が状況カードを活用した交流を繰り返し行うことによって、多様な考え方を取り入れた問題解決ができるようになった。
- 自分の考え方と友達の考え方を交流することで、自分の考え方や思いを伝えられるようになり、意欲的に授業に取り組める児童が増えた。

課題

- 資質・能力の更なる育成に向けて、数学的な表現を用いた交流や考え方の比較・検討、関連付けを図る活動を充実させる必要がある。